

霜月たより



秋も深まるこの季節 皆さまいかがお過ごしでしょうか？ 秋といえばの一つ【芸術の秋】
 そもそもどうして秋なのでしょう。もともとはある雑誌で「美術の秋」との記事が掲載されたこと
 が所以の一つのようです。さらには大規模展覧会など開催されることが多いのが「秋」ということ
 で、その流れになったと言われています。

「芸術」と言っても色々ありますが、今日は【絵画】について少しお話いたします。在宅の利用
 者さんでも、絵を描いておられる方結構いらっしゃいます。私自身は趣味の域ですが、近頃【絵画鑑
 賞】について学んでいます。きっかけは、もともと趣味の【絵】が認知症当事者の方に与える影響を
 知りたかったことと、引きこもりがちになっている高齢者が増える中で、日常に「楽しい」感情が残
 る時間を作りたいと思ったことでした。

学ぶ中で絵画は**見る人によって見え方や解釈が変わり、正解がない**ということを知り、何も
 知らなくても大丈夫」が安心感に変わり、今どっぷりはまっています。絵画を見ると、**自分と人の見
 え方の違い**に新たに気づかされます。そして人の見え方を聞いて「なるほど」と思うと急にその見え
 方にしかできなくなったりします(笑)。

絵画の見方としては基本自由ですが、全体に何が描かれているか見て・想像したりしながら解釈し
 ていく、そして、知識や経験と結び付け回想もしながら鑑賞します。一人ではなく誰かと一緒に絵画
 を見ながら自由に発言して共有することが新しい発見の連続で、情動を刺激することにつながりま
 す。ちなみに、人の脳は情動に関する部位を刺激することで成長し、感情にする部位は最後まで残る
 と言われています。そのようなことを考えながら絵画を見ることで【新たな発見】や【楽しい】など
 感情が刺激されます。また観察力がつくことも研究で明らかになってるので、例えば毎日同じ場所
 や散歩をしていても、ちょっとした変化に気づくことができるようになりますね。そうすることで人
 生が豊かに色づいたもの変わっていくのではないのでしょうか。

これらは正確には「**対話型アートプログラム**」といいます。すでに何人か一緒にアート鑑賞さ
 せていただいた方もいます。内容は覚えていなくても大丈夫。「その瞬間一緒にアートを楽しむ」こ
 れこそ目的の一つです。今度また、皆さまがどのような反応をされたのか等、お話させていただきた
 いと思います。これもちなみに・・・ですが、子供対象にも実践できます。

や経験が少ない分、大人では考えないような発言が飛び出すのもまた面白く感じます。 大人も子供
 も誰でも日常に潤いのある時間を、一緒に楽しませていただければ幸いです。

子供は知識

大人も子供

「こんなようになりますの巻

10月31日ハロウィン
 ヨーロッパ発症のお祭り。
 「トリック・オア・トリート
 (いたずらか、おもてなし
 か)」と言い、家を回ってお
 祈りしおもてなしを受ける慣
 習。子供たちが魔物の仮装を
 して家を周り「もてなさない
 と魔物のようにいたずらする
 ぞ」という意味。

ひと昔前・・・自分たちの小
 さい頃はこんな慣習なかつた
 です。(北海道だけでしょう
 か？笑)これと言ってお祝い
 はしないのですが、折角なの
 で、頂いた冬瓜をくり抜き
冬瓜お化けを作りました。
 なかなかの出来に満足し飾っ
 ておいた数日・・・
 姿かたちが変わりすぎて叫ん
 だこの頃・・・

